



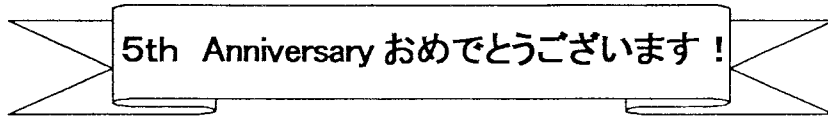
# Tea Time



第13号 2001年10月15日

夏の終焉は例年になくさわやかで、あの日---9月11日の朝も微笑むような優しい空がどこまでも広がっていました。けれど私達の記憶に刻印されたのは、その抜けるような空の青さを消し去らせた地獄絵でした。テレビに次々に映し出された爆煙、炎、壊滅、阿鼻叫喚。悲しみや不安に打ちのめされながら、それでも私達一人一人はそれぞれの日々を黙々と精一杯生きてゆかなければなりません。世界はこれからどこへ行こうとしているのでしょうか。今を生きる私達は次の世代に何を残そうとしているのでしょうか。

\* 皆様を支えられ本誌も5年目を迎えました。本誌のファンの方々にお祝いの言葉を頂戴しましたのでご紹介いたします。



ある日、「この辺に住む日本女性を対象に地域新聞をやろうよ！」と、今も編集員として頑張っている節子 Orr さんに声を掛けたのがきっかけで始まった「Tea Time」が、こんなに皆様可愛がられてこんなに長いこと続くとは、里子に出した我が子の成長を見守る気分です。アメリカ永住権取得を機に西海岸に来てしまいましたが、これからも我が子との絆を確かめる意味でも、東部には無い最新情報を送りますね。  
(元編集長 佐々木 美彌子)

「Tea Time」の発行を毎回楽しみにしています読者の一人です。レシピ、イベント情報、それにアメリカ生活でのアドバイスやヒント(これらの記事は特に興味があります)etc. と盛り沢山、、、  
編集者の皆様がボランティアで「Tea Time」を作成なさっている熱意と努力に感謝と敬意を表しますと共に今後の益々のご活躍を期待しております。  
(Opton 辰口 政子)

いつも素敵なお内容の「Tea Time」をありがとうございます。皆様のたゆまないご努力で5年目を迎えられることは素晴らしいことです。心からお祝い申し上げます。「Tea Time」の視点はバージニアに住んでいる人達の日常生活の中で、すぐ役立つようなテーマ選びやきめ細やかな記事作りをされており、大変感心しております。私も現在日本バージニア協会の中で、日系企業の皆様とその家族の皆様へのサービス活動をいわばボランティアでやっております。皆様の活動と同様にこうした活動が日米の掛け橋の一助になれば、との思いです。今後とも皆様の一層のご活躍を期待申し上げます。  
(三菱化学アメリカ 菅谷 幹彦)

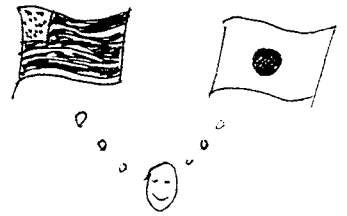
マガジンでもなく単なるニューズペーパーでもなく、誰にも身近に感じるニュースレターとでも言うべき「Tea Time」は親しみやすく温かいレターで、アメリカ在住の日本人にとってもっとも知りたい事や困ったこと等、幅広い知識で語りかけてくれて助かっております。しかも編集部の方々はボランティアとして自分自身の大切な時間を奉仕し活躍なさっていらっしゃるのか。この小さなニュースレターが人々に大きな役割を果たしていることを忘れないで、自信と誇りを持って本誌を心待ちにしている私達みんなの為に頑張ってください。  
“ありがとう” (「一番」店主 みちこ)

無料の情報誌で実際に役立っている情報誌だと思う。視線を低くした飾らない編集スタイルが、読者の日常的なニーズにさりげなく応えてくれる。5年で育った読者との信頼感が、今後発行部数を伸ばす度にさらに信頼の輪を広げられることを願ってやみません。  
(VA 在住 H. F.)

絶えず学生に生教材を使って教えたいと思っている私にとって、初めて四月に使わせて頂いた「Tea Time」は絶好の資料だった。アメリカ人の学生にとっては、語彙や漢字は少々難解でも、話題が理解しやすいという利点があり、且つ、実際にこの地に住む日本人の読むニュースレターという点で、大変意義深い生教材であった。そして、学生は選挙について、大統領について学び、日本人がおもしろいと思うヴァージニアの場所・レストラン等を興味深げに読んで、又新たに日本本語の勉強に勤しむ決意をしたようだった。それに「Tea Time」は貴重な情報を盛りだくさんに提供している日本語での出版物であり、当地に住む日本人にとっては大変心待ちにしているニュースレターなのである。これからの益々の発展・継続を切に望む。

現在私は日本での生活を送っていますが、それまでは Virginia に4年滞在していました。その間「Tea Time」のお陰でたくさんの貴重な情報に触れることが出来、感謝しています。これからも生活に密着したいいろいろな種類の情報を提供するとともに、そちらで生活している方々の交流の場となることを祈っています。  
(YUPO 浜田 道明)

(ODU日本語教師 石橋 微笑子)



\*参加者：加藤誠二(在米14年)、森樹(同7年)、小島まちこ(同7年)、福田尚子(同13年)

進行：大久保千穂

**大久保**：私達の周りで、特にアメリカ生活をエンジョイされている4名の皆様にお集まりいただきました。まずは女性側、小島さんからアメリカ生活の始まりについてお聞かせください。

**小島**：私は最初91年にアメリカに来まして、当時子供が4年生と幼稚園でした。赴任地はインディアナ州のとても田舎で、外国人が住むのは初めてという所。とにかく私たちが珍しいんですよ。ひっきりなしに人が見にくるという状況で、小学校に外国人が入学してくるのは始めてだしESLもなく、とにかく地元の人と仲良くしないとダメだったんですね。初めの頃って怖いですよ。学校に行くのもドキドキだったし、子供も全然慣れなかったし。だからわざと学校の近くに家を借りて、毎日下の子を歩いて学校に送りながら、子供に声をかけて遊びにきてもらったり、近所の人とも毎日お茶を飲んで面倒をみてもらって…。

**大久保**：インディアナには何年いらしたんですか。

**小島**：2年ぐらいでしたね。あの辺はいわゆるBible Belt Areaといってまだ旧いアメリカの田舎で何でも中心がChurch。子供の活動も全て教会で、上の子は親が知らない間に友達に誘われて教会で遊んでましたね。親のほうも知らん顔できないので教会に行くようになって、そこで私もBible Studyを始めて、それと同時に日本でもコーラスをしていたので、教会のChoirに入ったんです。もちろんクリスチャンというのは全く知らなかったの宗教的なことはよくわからなかったけれども、ただただBibleを読むのが面白くて、週2回ずつBible Studyと歌の練習、食事まで週2回教会で皆と一緒にしていましたね。本当にBibleを通して西洋文化に始めて触れたような気がします。また日本の田舎同様婦人会というのがあって、生活の改善を話し合ったり手作りの物を持ち寄ったりして、旧き良きアメリカの農園生活を知ることが出来ました。今考えるとほとんど家にはいない状態で主人は何をしていたのかと想像していたでしょうね。その後日本に帰ったんですけども、3年してまたここに来ました。子供が大きかったので、一緒に何かをするということも無くなり、今度は私が勉強しようと思って学校に通い始めました。Accountingをとって、学校の勉強が中心という生活です。インディアナの時の生活と比べたら落ち着いた生活をしています。地元の人との付き合いはというと、お料理教室とか子供の学校のお友達関係ですね。今は宿題に追われる日々です。

**大久保**：Accountingの勉強を始めてどのくらいになりますか。

**小島**：最初1年はGNUのESLでレポートやエッセイの書き方を勉強し、それから学費が安いというThomas Nelson Community CollegeのAccountingをとって今年で2年ちょっとになります。

**大久保**：この歳になって勉強というのはいかがですか。

**小島**：大変！…忘れやすいし、覚えにくい。

**大久保**：でも止めないんですよ。2年目になるということは。

**小島**：好きなんですよ。英語は元々好きなので、インディアナにいた時も言葉が慣れたら学校に行きたいなと思っていましたから。その時出来なかったことを今しているんです。

**大久保**：満足度は何%でしょうか。

**小島**：60%ぐらいかな。意気込みが多少無くなってきましたが。

**大久保**：加藤さんはもうこちらに14年ですが、もとは日系企業の駐在員としていらしたのですか。

**加藤**：ペンシルバニアのFranklinという、さつき小島さんが言われていたようなものすごく小さい町に5年ほどいました。日本にいればずっと(その会社を)続けたんですが、アメリカでしたからまあ辞めまして。

**大久保**：辞めるというのは、現地で独立しようとの決意で？

**加藤**：辞める時にはgraduate schoolにすでにacceptされていましたから行ける事はわかっていたんですが、子供もいましたし、家内はだいぶ反対したんですけども、経済的にもまあ何とかなるだろうということで、会社を辞めました。最初の1年は家族を日本に帰しました。その後幸いに奨学金とか取れまして、とはいっても経済的には苦しかったです。やっぱり日本にいれば(会社は)辞めなかったと思いますね。

**大久保**：それは前から自分のやりたいことだったんですか。

**加藤**：サイエンスは小さい時からやりたいと思っていたんですが、日本の制度、18や19の時に自分の将来を見てきちっとその道を選ぶというのは難しいと思います。日本の大学に入ると専攻を変えるのは非常に難しい、不可能ですね。その時に決めたものが会社に入っても一生いくというのがパターンだし、20代の後半、30代で会社を辞めて学生をしようと言うと世間の目も冷たいですよ。こっちの大学だと結構簡単に専攻も変えられるし、私が学校に入った時は周りの人はほとんど私ぐらいの年齢で、非常にやりやすかったですね。勉強は大変でしたけれど…

**大久保**：それで卒業後、NASAに就職されたわけですね。ちなみに何を専攻なさっていたんですか。

**加藤**：気象学です。以前は機械工学だったんですけど、全く分野が違うので一からやり直したんです。

**大久保**：その機械工学関係の日系企業の駐在員としていらしたわけですね。

**加藤**：日本から来たのは二人だけで、アメリカとの合弁会社でした。私はその時のことがあまり役に立ったとは思わないんですが家内に言わせると、英語が勉強できたのは小さな町で日本人もいなくてそれが良かったのかなあと。

**大久保**：今奥様もW&M大学で日本語を教えていらっしゃるようですが、それはやはりご主人の影響を受けたとか。

**加藤**：私はPenn. State Univ. に行きましたが、社会人がもう一度大学に戻るといのは珍しいことではなくて、家内も3年間かかって修士を取ることが出来ました。やっぱり環境だったんじゃないでしょうか。大学自体が大学町として他にまわりにも何も無いところにありますから。奥さんと大学に通っていらっしゃる方がまわりに多かったですね。

**大久保**：すごいですね、ご夫婦揃って勉強をなさっている…。

大学に行くことで不安とかありませんでしたか。

**加藤:** ありましたよ。経済的にも不安でしたしね。でもまわりがみなそうなんです。大学でもfamily housingいう所に住んでいたんですけど、そこは色々な国の人が住んでました。いわゆる日本の長屋みたいな所で、息子の誕生パーティーをした時、小さい子供もめったにおもちゃを買ってもらえない。自分の使ったおもちゃをプレゼントとして持って来て、でも子供となると後で返してくれよと言う子もいるし、プレゼントをくれた子がそれから毎日やって来てそのおもちゃで遊んだり。そんな所でしたから不安はありましたけど楽しかったですね。

**大久保:** 福田さんは本誌編集員でもありますが、どうでしたか？

**福田:** 最初にアメリカに来たのが上の子が生後5ヶ月。夫の赴任地マサチューセッツ州のAmherstに来たんですが子育ても初めてだし、留学の経験はあってもアメリカで実際に生活するのも初めて、不安で一杯でした。幸いそこは大学町で色々な国の留学生がいて、留学生とその家族やここに初めて来た女性が早く生活になじめる様にお手伝いするAround The World Womenというボランティア団体があったんです。週2回のプログラムで車がない人もかなりいたので迎えに来てくれました。始めてこのプログラムに参加した時、ドライバーの人たちもプログラムも有料だと思っていたんです。ところが、どんなに遠くに住んでいてもいつも笑顔で迎えに来てくれるし、プログラムも感謝祭のディナーをはじめどれも盛りたくさんで、なんとそれが全て無料。日本で数十年育ってきた私にとってボランティアという概念は初めてだったので、アメリカってなんて懐の大きい国なんだろうと思いました。下の子が保育園に入った時、いつまでも甘えてばかりではと奮起して今度は彼女らの仲間に入れてもらいました。色々な国の人と知り合いになれたり、お互いお国なまりの英語で一生懸命話したり、ほんとに楽しかったですね。もし日本にいたらこんなボランティアはしていなかったと思うし、ボランティアという概念さえ知らなかったかもしれないですね。

**大久保:** その後日本に帰られてから、またアメリカへ？

**福田:** 1年だけ戻り、ここバージニアには5年前に来ました。

**大久保:** 福田さんはジャズを勉強なさってますよね。

**福田:** 今から3年前にあるジャズシンガーのコンサートにたまたま行ったんです。彼女の歌にビッピッときたというのか、彼女に歌を習いたいと瞬間に思ったんです。翌日には彼女の教えている大学の音楽科に電話をし彼女にメッセージを残したところ、ナント翌日彼女から電話が直接かかってきて、トントン拍子に教えてもらえることになったんです。今も彼女のレッスンをとっていますが、本当に人の出会って不思議なものですよね。またここアメリカには夢を可能にする何かがあるような気がします。だからこそ、私みたいな主婦が大それた夢を持つことができるんですよね。

**大久保:** 夢を持つということは本当に大切だと思います。ところで森さんのアメリカ生活はいかがですか？

**森:** 私は4~5年で帰る人達の代表として今回参加しているんだと思うんですが。特にこれといってアメリカに深くとけ込んでいるというような活動をしているわけでもないですし、他の駐在員同様、いつかは帰るんだといった気持ちがありますね。日本にいる時と同じように仕事に振り回されているというのが現状です。僕が今の仕事を通して何をしているかというと、例えば日本からくる出張者の人達に話す自分の中身というのが恐らく皆さんが今感じられているところに近いんじゃないかと。アメリカを表現する代名詞に、

寛容と多様とよく表現されます。寛容な国であって、多民族、多様な国である。これは私も感じていまして、おそらく今皆さんが話している日本とアメリカの違い、又日本ではできないことがなぜアメリカだとできるのか、ということがその寛容さ、多様さから生まれる自由とか可能性というもので、それがあから日本ではちょっとやれないようなことでもアメリカでは潜在的にもつ能力が引き出されて皆さん色々と実行してらっしゃるんじゃないかと思いました。そんな話を日本からの出張者の人に話すんですね。例えばVA Beachに連れて行って、しょうもない店にたむろしている子供達を見せるだけでも皆結構感動して帰るんです。1日か2日の出張者でさえ帰国後ちょっと変わりましたというメールをもらうことが多いですね。

**大久保:** 日常生活からでさえもアメリカの可能性が感じ取れるわけですね。ところで毎回ちょっと変わった旅をされる森さんは、アラスカに行かれて、犬ソリでキャンプされたそうですね。奥様もまいちゃん(一人娘)も反対だったとお聞きしましたが。

**森:** 娘なんか泣いて行きたくないと言っていました、行ってみると家内も娘も今までで一番楽しかったと喜んでいました。犬ソリで世話になった家族の人たちと別れるときなんか泣いてましたよ。犬をたくさん飼っていて犬ソリレースにも出るような家族が、生活の糧として犬ソリキャンプのガイドをしているんです。行ったのは3月でしたから、そんなに日は長くはないですがだいじょうぶでした。夜でマイナス22、3度ですか。ガイドが一人つくんですが、後で知ったんですが、そのガイド(16才)も今回初めてだったんです。キャンプもなかなか味わえない経験でしたが、そのガイドの家族との交流も忘れられないですね。小さい家で犬を飼っていて、臭いもすごいんですよ。でも決して彼らは自分たちのことを卑下してないんです。むしろ誇りさえ持ち自分たちの生活について全く否定的でないですね。僕の周りのアメリカ人を見ても家族や仕事に対して、比べてものを言わないし、ネガティブな言い方はしないですね。それもアメリカが持っている可能性の一因かも。

**大久保:** 今までのお話で皆さん共通しているのは自分から踏み込んで行かないと、たとえアメリカにいたとしても全く変わらないし、アメリカにとけ込まずに全く(日本と)同じ生活をしている人もいます。しかしここでは少しでも自分がやりたいなと一歩出れば、それを広げてくれる土壌や可能性があるっていうことでしょうか。最後に、これがあったからこそできたんだというものがあればお聞きしたいんですが。

**加藤:** やはり仲間ですかね。前向きなことをするような人と付き合っていくということですか。もちろん自分自身も前向きに。

**森:** 仲間を作る時には英語はコミュニケーションの一手段ですが、気にしないでどンドン話しかけて行くことですね。

**小島:** そう、心を開けば必ず通じる人がいるはずですよ。

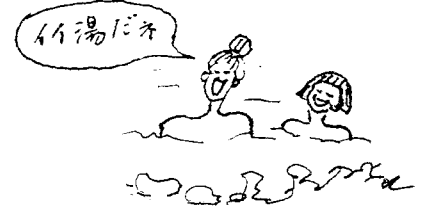
**大久保:** 同感ですね。仲間って大事ですよ。パワーももらえるし、コネクションも広がるし、情報が入ってくるし。その仲間を作るためにも英語の壁をも気にしないで心を開いて社会の中に入っていくとする前向きな態度が必要ですね。今日は本当にありがとうございました。

紙面の都合上以上で終わりますが、様々なお話を伺い大変楽しい座談会でした。皆さんもこの会話を通じて何かを感じていただければ幸いです。ご意見お待ちしております。



Hampton Roads から数時間で行ける

## Spa Resort



感激! バージニアに日本式温泉がある!!

### Pembroke Springs Resort

A Country Bed & Breakfast

Shenandoah Valleyにある日本の田舎を忍ばせるこの温泉。10月1日が開業日とあって、「Tea Time」の編集員一同、競って誰が先に試してみると騒ぎましたが、結局全員忙しく、体験談は今回の発行に間に合いませんでした。Hampton Roads 方面からは I-64 を Staunton まで走り、その後 I-81 を北へ走ると Winchester の手前の方にあります。3時間半～4時間位のドライブではないでしょうか。経営者は奥様が日本人、御主人はアメリカ人で、日本の駐在経験が大変長かったとか。このB&Bの経営はお二人の長年の夢であったそう…。朝食は前もって希望をいれておくと日本食もOK! (うれしいですね)。保養地ともいえるこの場所は175エーカーもあり、温泉が二つに、テニスコート、スズキや bluegill などの魚つりができる 大きな池があります。又、紅葉を楽しみながらハイキングのできる hiking trail など、家族揃っての娯楽にこと欠きません。車椅子を使われる方にもその設備や配慮ができていて大変親切。また、夏には子供の日米親善サマーキャンプも営まれます。冬時には Bryce Mountain Ski Resort で(車で40分、別項参照)スキーを楽しんだ後、温泉に入って体を癒したら如何でしょう。二人用の寝室が3つあり、一部屋一泊150ドル(モチロン朝食込みです)。1人追加分は25ドル。日帰り客は1人、50ドル。そして希望によっては二つの部屋、或いは全部屋を続き部屋として使えます。普通、12歳以下の子供は受け付けませんが、家族やグループで全室を借り切る場合、12歳以下でも大丈夫です。3寝室のほかに小キッチン付きの居間がありますのでグループで行った場合、鍋物やカレーライス等を夕飯に用意できます。温泉水は持ちかえられるのでボトルを持って行きましょう。

詳細は: 電話: (540)877-2600 (日本語での予約、問い合わせ可) Fax: (540)877-3500

Email: pembroke@shentel.net



## Ski Resort



### スノーシューマウンテンスキー場 Snowshoe Mountain Ski Resort, W. VA

W. VA の Snowshoe Mountain をつづら折りに登って行くにつれ、雪が深くなっていきます。やがて一面の銀世界が開け、すべてがさらさらのパウダースノーに覆われた美しさに溜め息。しかし、寒さは半端ではありません。私達はゲレンデにそのまま出られるコンドミニウムに泊まりました。滑り疲れたら部屋に戻って、温かいものを取ったり、おにぎりを食べたりして寛ぎ、またゲレンデに出かけるといった気楽さが子供達にとってもよかったです。コンドミニウムはお友達家族とガヤガヤ行くと楽しいですね。部屋で鉄板焼きやカレーを食べて、トランプをしてホカホカと暖かい夜が更けていく間に外はさらにしんしんと雪が降り積もり、翌朝にはまた風景が変わっています。ゲレンデは麓の方から初級、中級、上級とに分かれ、年齢や熟練度によって選択できます。上級になると上の方は吹雪いていたなんていう話も。手袋は二重にして顔もすっぽりと隠れるくらいの完全武装がいいでしょう。一日中滑って冷えたり、転んで打ち身になったり、慣れないウエアーに疲れている体をジャグジーやプールでゆっくりと揉みほぐし、温泉気分を味わうのも格別です。サンクスギビングパッケージやクリスマスパッケージなどは早目に予約を。スキー用具のレンタル、スキー教室、デイケアセンターも完備しています。(N. N. 在住主婦)

詳細は: Email: snowshoemtn.com 電話: 304-572-5424

住所: Attn: Sweepstakes, Snowshoe Mountain, 10 Snowshoe Dr., Snowshoe, WV 26209

### ブライスマウンテンスキー場 Bryce Mountain Ski Resort, VA

ワシントン D. C. 近郊にあるスキー場の中ではここは初心者むきで家族連れが多く、なごやかでくつろいだ雰囲気のあるスキー場です。従ってベテランスキーヤーには物足りなさが残ることでしょう。この子供スキー教室は質の高いことで定評があります。上記の Pembroke Springs Resort から車で40分の所ですのでスキーの後、温泉に入って寛ぐ… というのもなかなかここアメリカでは味わえませんよネ!

**Direction** : I-64Eを Staunton まで走り、次に I-81 N を Exit 273(Mt. Jackson) までドライブ。Rt. 263 を右に曲がって、11マイル行くと Bryce Resort の入り口。

Bryce はスキー場のほかにゴルフ、テニス、プール、ボートやカヌー、ビーチ、乗馬、ミニゴルフ、ウインドサーフィン、釣りなどと豊富に娯楽が楽しめます。

詳細は: Email: bryceresort.com 電話: (800)821-1444 又は: (540)856-2121

住所: P. O. Box 3 Bayse, VA 22810

ニューイングランド・クラムチャウダー

材料(6人分)

ベーコン(細切り)、3枚  
 玉葱、中1個(1cm角切り)  
 ジャガイモ、中2個(皮をむき、1cm角切り)  
 minced clams (6 1/2 oz)の缶詰め、3缶  
 水、約1カップ  
 バター、1/4 カップ  
 all-purpose flour、1/4 カップ  
 牛乳、3カップ  
 塩、3/4 tsp.  
 胡椒、1/8 tsp. (あれば白胡椒)



作り方

- ① 大き目の底の厚い鍋にベーコンを入れて、こんがり焼けるまでゆっくり炒める。炒め上がったら、ベーコンをペーパータオルの上に取り出ししておく。
- ② 鍋に玉葱を加え、ベーコンの油で柔らかくなるまで炒め、ジャガイモも加えて炒める。
- ③ クラムの缶詰を開け、汁と身に分ける。クラムの汁に水を足して2カップにし、それを玉葱とジャガイモの上にかき、鍋の蓋をして野菜が柔らかくなるまで煮る。
- ④ 別鍋でホワイト・ソースを作る。… バターを鍋にいれて炒め、粉を加えて2分ほど炒めて、温めた牛乳を加え、泡立て器でよく混ぜる。
- ⑤ とろとしたソースを野菜の入った鍋に入れ、塩と胡椒で味をつけて蓋をし、味がまろやかになるまで弱火で、スープが吹きこぼれないように気をつけながらよく煮る。
- ⑥ 最後にクラムの身と先に取り出しおいたベーコンを加えて弱火で5分間煮る。好みで微塵切りしたパセリを加え、すぐに供す。

キムチ鍋



材料:

キムチの古漬けとキムチの汁、1.5~2カップ(好みで調整する)  
 豚肉(薄切り)、キムチの半量  
 豆腐(soft tofu)、1丁(適当な大きさに切る)  
 青葱、2、3本(先ず、葱を縦半分に切り、それを5cmに切る)  
 玉葱、半個(2cm角切り)  
 ビーフストック、6カップ(水、6カップ+固形ビーフの素、2個)

作り方:

- ① キムチは食べやすい大きさに切る。
- ② 鍋にキムチと豚肉を入れて混ぜ合わせ、強火で煮る。
- ③ 煮えたらビーフストックとキムチの汁を加える。
- ④ 沸騰したら味をみて塩加減を調整する。
- ⑤ 最後に豆腐、青葱、玉葱を加えてもう一度沸騰させる。



簡単豚汁

材料(5人分)

ベーコン、5枚  
 冷凍和風野菜ミックス、1袋  
 赤味噌、大さじ 1  
 白味噌、大さじ 1  
 水、6~8カップ  
 七味唐辛子とあさつきの小口切り(薬味)



作り方

- ① ベーコンをよく炒めて取り出し、その油を捨てる。
- ② 冷凍野菜は一度水で洗いベーコンを炒めた鍋に入れ、ベーコンをもどし、水を加えて沸騰させる。
- ③ アクを取りながら野菜が柔らかくなるまでしばらく(約10分)弱火で煮る。
- ④ 野菜が煮上がったら赤、白味噌共に加え、食べる直前に薬味の七味唐辛子やあさつきを加える。

白いんげん豆と野菜のシチュー

材料(4人分)

白いんげん豆、1カップ(一晩水につけて、薄皮を取る)  
 玉葱、1個(皮をむいて薄切り)  
 ニンニク、2かけ(微塵切り)  
 さやいんげん、100g(塩少々を入れた熱湯でゆで、4つに切る…又は冷凍のものを使ってもよい)  
 ズッキーニ、1本(1cmの厚さのいちょう切り)  
 ニンジン、1本(0.5cmの厚さのいちょう切り)  
 セロリ、1本(筋をとって薄切り)  
 ジャガイモ、2個(1センチの角切り)  
 キャベツ(千切り)、1カップ  
 トマトの水漬缶詰(14.5oz)、1缶  
 オリーブ油、大さじ 3  
 ローズマリー(香辛料)、小さじ 1/4  
 スープストック、2カップ(固形スープの素2個+水)  
 パルメザンチーズ(すりおろす)、適宜  
 塩、胡椒

作り方

- ① 鍋にオリーブ油を熱し、玉葱、ニンニクを焦がさないように弱めの中火で炒める。弱火にし、ズッキーニ、キャベツ、ニンジン、セロリを加えて更に10分間炒める。
- ② ①に、いんげん豆、そして塩、胡椒を除いた残りの材料すべてを加え、沸騰後、弱火で時々アクを取りながら、蓋をして約1時間煮る。
- ③ 塩、胡椒で味を調べて器に盛り、チーズをふる。





# まだまだあった！美味しいお店！！



## Richmond のおすすめレストラン

### Azzurro (イタリアンレストラン)

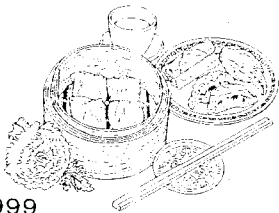
6221 River Road Richmond, VA, 23229  
(River Road Shopping Center 内)  
(804)282-1509



アメリカンスタイルの Pasta に飽き飽きしている方、本格的イタリアン Pasta が恋しい方にお勧めします。各種のアペタイザー、シーフード Pasta が特に美味しく、店内のインテリアも凝っており、お洒落な雰囲気を醸し出しています。パティオでのお食事もロマンティックです。

#### 行き方:

Newport News から I-64W から Downtown Express に入り、Cary St. で降りたほうが簡単に行けます(一方通行のサインがなくなるので)。Cary Town を西へ抜け、Cary St. が Huguenot に変わる辺り、University of Richmond と Country Club of Virginia の近くにある小さな River Road Shopping Center の中にあります。このショッピングセンターも結構良い雰囲気の可愛いものです。Cary Town で昼間遊んだ後、夜 Azzurro でディナーなんてコースもいいかもしれませんね。



### 富記 FU-KIM (中国料理店)

515 E Main St.  
Richmond, VA (804)780-2999

お客の殆どが中国人家族で、耳なれぬ言葉が飛び交い賑やかに食卓を囲んでいます。小皿を満載したワゴンがひっきりなしに店内を回り、指さすと置いて行ってくれます。種類はかなり多いので初めから欲張らないように。料理はクセがなく、上品な味付けでとても食べやすいです。ぷりぷりのえび餃子、食感の素晴らしいクレープ、大根餅、からりと揚がったえび団子、ちまきなどなど...デザートはマンゴープリン、ごま団子、杏仁豆腐もとっても美味。本格的な飲茶も楽しんで、ジャスミンティーと共についつい食べ過ぎてしまいます。家族4人で満足いくほどいただいても \$70~80 という安さに再び満足。他に汁そばをはじめとする単品オーダーも出来ます。

#### 行き方:

I-64W を Richmond の Exit 183B で降り、そのまま4つ目の信号を右折し、右側のアジアングロサリーを通り過ぎた所にあります。



## オペラやショーの夜に楽しめるレストラン

### Blues Alley - Bistro, Cafe

455 Granby St., Norfolk  
(757)622-0081

生演奏を聞きながら大人のムードで食事が楽しめます。値段は少々高めですが、盛り付けも美しく味もよいし、客層も申し分ありません。クライスラーホールには徒歩3分という近さで駐車スペースにも困りません。Granby のレストラン街の一軒目で、ブルーの看板が目印です。

### Bodega - Bar, Restaurant

422 Granby St., Norfolk  
(757)622-8527

Blue Alley の はず向かいにあるスペイン料理の店。外観はさえない感じですが一歩入れば南青山のビストロ風(?)で、とても洗練されたムードがあり、大人の客層で占められています。味付けは繊細かつ美味、値段も手頃です。一番安いイタリアンワインにしても文句なしです。野菜、肉、鴨、魚どの料理も当たりはずれなく自分の好みで頼めます。パエリアも上品な味付けでお勧めします。居心地がよく、つい長居をしてしまうような所です。店の横が専用駐車場です。

## エスニックレストラン

### Vietnam Garden

2402-114 Virginia Beach Blvd.  
(London Bridge Shops 内 )  
631-8048

火-金 11:00~3:30, 5:00~9:00  
土&日 12:00~3:30, 夜(土) 5:00~10:30,  
(日) 5:00~9:00

月曜日 休業

オーナーの Mian さんはベトナムで生まれ育った中国人です。本国にもレストランを持っていた経験をいかし、3年前に念願のこの店を開きました。シェフは娘さん、給仕は息子さんと家族で経営しています。店内は少し暗いけどシックで落ち着いた食事が出来ます。勿論、子連れでも大丈夫です。お勧めは Goi Cuon (生春巻き)、Bahn Me Chien (手間のかかったごまパンケーキの揚げ物)、Pho (ベトナム風汁そば)、Bun (サラダ風麺)、Stir Fry Soft Rice-Noodle (焼き蕎麦) 等ベトナム家庭料理(お母さんの味)が堪能できます。メニューが分からない時はウェイターの息子さんが気軽に教えてくれるので安心して注文できます。

# イベント情報



## フェスティバル

### Poquoson Seafood Festival

日時: 10月19日~21日(金~日)  
 場所: Poquoson Municipal Park  
 830 Poquoson Ave.  
 電話: 868-3580

Poquosonの一番大きいお祭りで、food, music, arts&crafts、子供向けイベント、各種競技会、花火等々盛りだくさん。例年Poquosonへの一本道がかなり渋滞しますので、ご注意ください。

### Town Point VA Wine Festival

日時: 10月20日(土)、21日(日)  
 12時から5時  
 場所: Town Point Park  
 333 Waterside Dr., Norfolk  
 電話: 441-2345  
 料金: ワインの試飲チケット  
 前売り\$20、当日\$25

25以上のバージニアのワイナリーが参加するワインの試飲販売。その他バージニア特産のグルメ食品、アンティーク、speciality crafts、music等、秋の一日を楽しもう!

## Art



### Holiday Favorites

- \* Antique Toys
- \* Tasha Tudor's Pictures for the Holidays

日時: 11月22日から翌3月3日  
 10時から5時  
 場所: Abby Aldrich Rockefeller Folk Art Center  
 Colonial Williamsburg  
 (Williamsburg Inn の隣)  
 料金: 大人\$8 子供\$4

アンティークのおもちゃやドールハウス、そして絵本の挿し絵で有名なTasha Tudorの写真展。

### Actor's Image:

### The Japan—America Society Collection of Ukiyo—e Print

日時: 1月12日から3月31日  
 場所: Peninsula Fine Art Center  
 Newport News

## オペラ

### Virginia Opera 公演

The Mikado 11月9日~18日  
 Elektra 1月25日~2月3日  
 The Masked Ball 3月8日~17日  
 セビリアの理髪師 4月12日~21日

時間: 水曜日 7時半  
 金曜日 8時  
 日曜日 2時半



場所: Harrison Opera House  
 Norfolk

料金: 各 \$22~\$79  
 電話: 877-2550

## Performing Art

### A Crystal Christmas: Holiday Concert with Crystal Gayle

日時: 12月20日(木) 7時と9時  
 場所: The American Theatre  
 Hampton  
 料金: \$50

大人気のカントリーシンガーのショー。アメリカっぽい熱気が期待できそうです。

### The National Acrobats of China (中国雑技団)

日時: 3月19日 7時半  
 場所: Hampton Coliseum  
 料金: \$12.50~\$25  
 電話: 722-2787

これはもう目を見張りますぞ! ご家族揃って繰り出しましょう。

## バレエ



### "Coppelia" by The National Ballet of Cuba

日時: 11月17日(土)、18日(日)  
 場所: Chrysler Hall, Norfolk  
 料金: \$20~\$45

バレエの代表作の一つ。伝説的存在のバレリーナ Alicia Alonso創設のバレエ団で、振り付けも彼女によるバージョン。

### "The Nutcracker" by Virginia Ballet Theatre

日時: 12月13&14日 8時  
 12月15日(土) 2時と8時  
 12月16日(日) 2時  
 場所: Chrysler Hall, Norfolk  
 料金: \$20~\$35  
 電話: 622-4822

クリスマスのお決まり、くるみ割り人形。

## ジャズ

### The Jacques Loussier Trio

日時: 11月2日(金) 8時  
 場所: The American Theatre  
 料金: \$17.5~\$22.5  
 電話: 722-2787

日本では超有名、クラシックとジャズの融合のバイオニア。彼の手にかかれればバッハもジャズに変身。必聴!

### Stephanie Nakasian & Hod O'Brian Quintet

日時: 12月1日(土) 8時  
 場所: Williamsburg Library  
 料金: \$12  
 電話: 259-4070

スウィング満点の彼女の歌とご主人のHodのピアノは抜群。正統派ジャズ。

## その他



WilliamsburgとRichmondの間、James River沿いに点在するPlantation群。どうせ行くなら美しく華やぐこのホリデーシーズンに。中でもBerkeley PlantationはThanksgiving発祥の地。また、Harrison大統領のお屋敷でもあった由緒ある場所です。庭園をぬけて眼前の広大な河や領地を眺めると、何やらインディアンが聞こえてきそう...。この時期に一度お出かけ下さい。Berkeley Plantation

電話: 804-829-6018  
 Thanksgiving行事 11月4日(日)  
 12月中クリスマスデコレーション。

\* Plantationは数多いので、2、3件に絞って出かけられるとよいでしょう。

≪ 毎年恒例のクリスマス行事につきましては、地元新聞及び、過去の「Tea Time」をご参照下さい。 ≫



連なる山々が四方を囲み、山に抱かれて水田がどこまでも広がる。裾野に寄り添うように集落ごとに建ち並ぶ家も、深い山の懐に背後を守られているようだ。小川にかかる小さな橋を渡り、水田に挟まれた一本道を登ると突き当たりが私の生まれた家。遙か前方には秋田富士と愛でられる鳥海山が美しいたたずまいを見せる。実家は私が中学を卒業するまで昔ながらの藁葺き屋根だった。曾祖父の代まで神官だったため、座敷の奥に小さな神殿があり、屋根も端が反り返った変わった形をしていた。改築をして母屋の方は近代的になったが、中座敷、奥座敷と続く広間は昔のままで目の細かい障子や幅の広い襖、細かい細工の欄間が年代を物語っている。若緑に染まる水田をなぶりながら渡ってくる風が心地よい。夏。昼寝から目覚めると開け放した家の中に人の気配はなく、裏山で油蟬が忙しく鳴いているのが聞こえるばかりだった。父も母も祖母も田んぼや畑に出ていて、日が落ちるまで帰ってくることはない。隣に弟が眠っていて、姉はもう午後の外遊びに出かけたようだ。茹でた枝豆とトオモロコシが大きなざるに盛られていて、ギンヤンマが時々ざるの端に止まっていたりする。油絵の具のようなどろりとした青空を見つめながら、目覚めたばかりの気だるさに身を委ね、小さな私は至福の時というものを噛み締めていたように思う。豊かな自然を美しいと思い、かけがえのないものと感じることが出来たのだ。

東京に出たばかりの頃、通学電車から眺める東京の街が果てなく続く砂漠のように見えたものだ。果てのないことが不安で仕方がなかった。東京の街が山に囲まれていないから頼りなく見えるのだと気がついたのは少し後になってからだ。都会の生活はそれでも魅力的で、取り残されないように必死で時間を追いかけているうちに、故郷は益暮れに訪れるだけの所になった。帰れば、祖母がいて、両親がいて、縁側に腰を掛けると昔ながらの風景が目の前にあった。山頂に雪を頂く鳥海山、群青にけむる山々、水田と空。その空間をからりとした風がさわさわと渡ってくる。

数年ぶりに故郷に帰った。笑顔で出迎えてくれた祖母も両親も既にない。弟の代になって実家は新しい若い匂いがするようになった。母が可愛がった裏庭の池の鯉も死に絶え、畑の様子も玄關脇の植木の種類も変わった。縁側から見渡す風景の中を、もうすぐバイパスが横切るそうだ。バイパスは付近の集落より高い位置を走るの、見晴らしが悪くなるだろう。

もう私の故郷がなくなってしまうね、と一人ごちた時、開け放した縁側から神殿を通して風が吹き抜けた。何百年も一族の盛衰を見つめ続けた真っ黒い柱が、襖が、障子が、鴨居に並ぶ先祖代々の遺影がクスリ、と私を笑った。

(ペンネーム:野辺今日子)



Your Letter



貴誌を創刊号からいただき本当に感謝しています。本誌のお陰で引越してきて少しブルーな気分になっていたのが一気に吹っ飛んで、こちらでの生活がとても楽しくなりそうで、感謝の気持ちでいっぱいです。ご家庭を持ちながらの編集に大変なご苦労があると思いますがこれからも頑張ってください。  
(Chesapeake 吉村幸代子)

前号で紹介されていました Dolphin Watching に行ってきた。2時間のツアーで Virginia Beach Fishing Center より出発。想像していたよりかなり大きな船で百人位乗っていたのではと思います。初めの1時間位は2、3頭しか見えず心配しましたが、そのうち前方に100頭くらいの群れが！右も左もイルカ！あちこちで揃ってジャンプするかわいい姿を見ることが出来ました。途中海がメヤエイも見られ、息子はひたすらエイの数を数えていました。下船際に気持ち悪くなり、下を向いて76匹も数えたとか、、、あきれしまいました。小学生以下のお子さんは船がかなり揺れるのでお勧めできません。このツアーは 10/7 までですが、1~3月は Whale Watching が出来るそうなのでそちらも試してみようと思います。  
(Chesapeake 久美子 ゲイル)

最近、真昼間でしかも結構車通りのある所でドライブをしていたら、いきなり大きな鹿が私の車の前を横切ろうと出てきました。急停止すれば後ろから来る車が追突すると咄嗟に考えた私は、ブレーキを少しずつ踏みながらも、思わず目をつぶってしまいました。幸いにも事故はまぬがれたものの、冷汗をかきました。“鹿にご注意”のサインを見たら指示以下のスピードで走る位の用心深さが必要だと痛感。皆様もくれぐれもご注意を！  
(編集員 田中洋子)

< Thank you >

VA Beach の「一番」様からご寄付を頂きました。ありがとうございました。

笑タイム

赴任したばかりの某プリンター会社の君を誘い夜のブッシュガーデンに行きました。道路左手にローラーコースターが見え始めた時、君が「えっ、ブッシュガーデンで遊園地だったんですか？」と聞くではありませんか。「何だと思ったの？」と訊ねると真面目な顔で、「ブッシュ(植木)が沢山ある庭でバーベキューでもするのかと思って、この暑いのに長ズボンはいきましたよ。」だって。さらにもう一発。来て早々スーパーでアイスコーヒーのパックを見つけたので喜んで購入。家で開けてみたら中身はコーヒー用のミルクだった、、、。彼いわく写真がコーヒーだったので当然アイスコーヒーだと思ったとか。思い出すよね、こんなこと。

お知らせ

日本大使館領事班主催『領事出張サービス』

- \* 日本旅券更新手続、在外選挙人名簿への登録手続、講話「危機管理」
- \* 旅券更新手続は早めの事前手続が必要です。(講話は1時~2時)
- \* 詳しい案内・問い合わせ先:  
日本バージニア協会(塩澤(804)783-7811)/領事班(東山(202)238-6700)  
日時 : 2001年11月17日(土) 午前9:30 ~ 午後3:00  
場所 : ニューポートニュース補習授業校

Hampton Roads Academy

739 Academy Lane

Newport News, VA 23602

(I-64 Exit256A Oyster Point Rd. からすぐ右)

\*\*\* 同時開催 \*\*\* (同じ場所同じ日時にて)

ニューポートニュース補習授業校主催 『古本市&バザー』

「Tea Time」は Peninsula 近郊に住む日本人(主に女性)の為の情報誌です。女性6人のボランティアにより1年に3回、季節の記事やローカル情報等を取り上げ発行しております。

(投稿先) Chiho Okubo 270 Enterprise Drive Newport News, VA 23603

Tel: 888-0000 Fax: 888-0011 okubotc@takaha.com